

令和4年度厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援政策研究事業）
分担研究報告書

性差にもとづく更年期障害の解明に基づく両立支援—普及・支援資料の作成に向けて—

研究分担者 熊野宏昭 早稲田大学人間科学学術院 教授

(研究要旨)

女性及び男性の更年期症状等の健康課題の両立支援に関して、性差に着目した普及啓発や支援・介入を行うための資料を作成することを目的としている。1年目として、多様な成果の情報入力を進めたが、今後の成果の蓄積に基づいて、来年度以降、具体的に資料作りを進める予定である。

A. 研究目的

本研究班で明らかになる、女性及び男性の更年期症状等の健康課題の両立支援に関して、性差に着目した普及啓発や支援・介入を行うための資料を作成する。

B. 研究方法

外来患者調査、ペーシャントジャーニーの調査、レセプトによる受診率調査、就労者疫学調査、両立支援の検討結果に基づき、普及啓発や支援のための資料を作成する。

今年度は、研究班全体の研究計画に関する話し合い、研究成果の発表会に出席し、どのような資料を作成すればよいかを考察しつつ、今後の展望を得るようにする。

C. 研究結果

それぞれの研究で多様な成果が得られてきていることが理解されたが、それぞれの研究が始まったところであるので、来年度以降の成果も含めて、資料の全体をどうデザインするかを考えていく。

D. 考察

更年期障害と日常生活・就労の両立支援に関しては、国民からの期待も高まっており、様々な観点からのエビデンスをまとめ、分かりやすい形で啓発、支援に役立つ資料作りを進めることが求められる。

E. 結論

1年目として、多様な成果の情報入力を進めている段階であるが、今後の成果の蓄積に基づいて、来年度以降、具体的に資料作りを進める予定である。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 熊野宏昭：LOH 症候群におけるうつ病、日本泌尿器科学会/日本メンズヘルス医学会/LOH 症候群（加齢男性・性腺機能低下症）診療の手引き作成委員会（編）：LOH 症候群（加齢男性・性腺機能低下症）診療の手引き、医学図書出

版, 2022

2. Ide H, Kumano H (21/28). Summary of the clinical practice manual for late-onset hypogonadism. International Journal of Urology, Epub ahead of print, doi:10.1111/iju.15160
2. 学会発表等 なし

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし